



学校だより
ながや

令和2年度 第8号
令和2年 10月30日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

永谷スポーツフェスティバルを終えて

校長 平野 好子

高く澄み切った空のもと、秋冷がさわやかに感じられる季節となりました。10月第3週から後期が始まりました。雨天のため翌日に延期した永谷スポーツフェスティバルも、10月18日(日)に開催することができました。開催に際しては、地域の皆様、保護者の皆様に、多大なるご理解・ご協力をいただきました。感謝申し上げます。

今年度は、スポーツフェスティバルにおいても、様々な面で、感染症拡大防止策を講じての開催となりました。年度当初の始業式でさえ、全校児童が集まることなく、各教室でのテレビ配信でしたので、スポーツフェスティバルは、全校児童が会する今年度初めての行事となりました。

感染症拡大防止のため、密を避けることに細心の注意を払い、計画しました。運動場の開催ですから、屋内のような密閉状態にはなりません、密になる時間を短縮するため午前開催としました。競技・演技についても密集・密接をさける方法を探り、マスクを外している時間の短縮、子どもたちの密接を回避するための整列や集合・解散の仕方を工夫し、競技の前後に手指消毒できるよう、各クラスの待機場所に、除菌タオルの常備も行いました。そして、これまで、臨時休校や暑い時期の熱中症予防等の点で、体育の学習や休み時間の確保が難しかったことから、子どもの体力を考慮して、徒競走も例年より短い距離としました。

時間は短縮しても、「点数をつけ勝敗を競うもの」としたい、「徒競走だけで点数をつけるのではなく、全員が短い時間でもできる団体競技を行わせたい」、「リレーも応援団もさせたい」、欲張りとも思える思いは膨らみました。その思いを形にしてくれたのは、永谷小学校の子どもたちでした。そして、PTA役員・ボランティアの方々、例年と違う参観の仕方をご理解いただいた保護者の方々のご協力があったからこそできたのだと感じています。

保護者の方々の密を防ぐために、運動場で観覧できるのは、現在と次のプログラムの学年の保護者の方に制限させていただきました。また、PTA役員やボランティアの方々には、校舎内から運動を見渡せるという立地を生かして、拡大防止策を講じながら校舎内からの観覧を計画していただき実施することができました。『子どもたちのために』という思いを共有して、PTA役員の方々やボランティアの方々とはコラボして行うことができたことに大きな喜びを感じました。感染症拡大防止に向けて、PTAと教職員が一丸となった今年ならではの新しい試みとなりました。近隣の方々にも、日曜日当日の放送等にご理解をいただきました。

多くの方々のご理解・ご協力があった、今年度の永谷小学校スポーツフェスティバルを無事開催することができました。そして、たくさんの方々と共に作り上げることができたことは、大きな達成感につながりました。本当にありがとうございました。

学校教育活動において、ご不安・ご心配な点多々あるとは存じますが、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力を今後ともよろしくお願いいたします。